

SACLA (XFEL)との連携

- 生命系では、本日講演される中迫先生（慶應大）のプロジェクトが進んでいる
- 実験では、逆空間のX線回折パターンの強度のみが得られ、位相が得られない — 位相問題
- 原理的には、オーバーサンプリング計算法での位相回復 & 逆FTが可能 — ここで大規模計算が必要
- スナップショットごとのデータに対し、逆FT
- スナップショットの結合による三次元再構成 & 時間発展再構成 — ここでも大規模計算が必要かも
- 細胞、オルガネライメージングからスタート
- 実験と計算（理論）が並行して進むイメージ